

釧路総合振興局記者クラブ配付資料

報道発表資料の配付日時 令和5年(2023年)5月31日(水) 15:00

発表項目	麻しん（はしか）患者の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) 月 日 () 時 分	発表者	
		発表場所	
概要	<p>令和5年5月29日(月)、釧路保健所管内の医療機関から麻しん（はしか）疑い患者（1名）の発生届があり、検査を実施したところ、麻しんと判明しました。</p> <p>保健所の調査の結果、5月21日(日)から発熱症状を呈し、5月27日(土)に釧路保健所管内の医療機関に入院しました。</p> <p>このため、当該患者と接触した方は麻しんに感染する可能性があることから、広く注意喚起するため情報提供するものです。</p>		
参考 ※発表のポイントやねらい、経緯等			
報道(取材)に当たってのお願い	報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段のご配慮をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	道政記者クラブ	
担当 (連絡先)	北海道釧路総合振興局保健環境部保健行政室（北海道釧路保健所） 健康推進課長 宮川 清誇 tel: 0154-65-5823		

麻しん（はしか）患者の発生について

令和5年(2023年)5月31日(水) 15:00

北海道釧路保健所
(北海道釧路総合振興局保健環境部保健行政室)
TEL: 0154-65-5823 FAX: 0154-65-5352

令和5年5月29日(月)、釧路保健所管内の医療機関から麻しん(はしか)疑い患者(1名)の発生届があり、検査を実施したところ、麻しんと判明しました。
保健所の調査の結果、5月21日(日)から発熱症状を呈し、5月27日(土)に釧路保健所管内の医療機関に入院しました。
このため、当該患者と接触した方は麻しんに感染する可能性があることから、広く注意喚起するため情報提供するものです。

記

1 患者の概要

20歳代男性

2 経過等

5月21日(日) 発熱症状等出現
5月26日(金) 医療機関Aを受診
5月27日(土) 医療機関Bを受診後、医療機関Cに入院
5月29日(月) 医療機関Cから麻しん患者(臨床診断例)として届出
5月30日(火) 道衛生研究所の遺伝子検査で麻しん陽性と判明

3 対応

釧路保健所では、接触者に対する健康観察を実施し、発症者が出た場合の速やかな対応体制の確保に努め、感染防止対策について指導を行っています。
また、管内の医療機関等、関係機関に対する情報提供を行い、注意喚起を図っています。
患者の行動や接触者について調査したところ、周囲へ感染させる可能性のある時期に、不特定多数の人が利用する施設を利用していたことが判明しました。

関連施設	日付	時間帯	所在地
山花温泉リフレ	5/20	12:00-17:00	釧路市山花14線131番
焼肉居酒屋ぎょう太	5/20	18:00-19:00	釧路町桂木3丁目1
ジョリーパスタ釧路店	5/21	15:00-16:00	釧路町桂5丁目2-4
ビッグバン釧路店	5/21	16:00-17:00	釧路町木場2丁目1-1

※現在、店舗の利用は安全に行えます。
※店舗への問い合わせは御遠慮ください。

上記店舗を対象の日時に利用された方は体調に留意し、麻しんを疑う症状(発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血等)が現れた場合には、必ず事前に医療機関に連絡し、麻しんの疑いがあることを伝えてください。受診の際には、公共交通機関の利用を控えて医療機関の指示に従って受診してください。

4 予防

麻しんは、感染力が非常に強く、主に空気感染であるため、手洗い・マスクのみでは予防はできません。ワクチンを2回以上接種、又は過去に麻しんに罹患したことがある方を除き、麻しんワクチンを2回接種することが重要です。

5 その他

この件については、本日15時00分、北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課においても資料配布を行っています。

報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護、医療機関や学校等の正常な運営確保のため、特段の御配慮をお願いします。

● 道民の皆様へ

- ・ 症状から「麻しん」が疑われる場合、必ず受診前に医療機関に「麻しんかもしれない」こと連絡の上、必ずマスクを着用し、速やかに受診してください。
- ・ 受診の際は、周囲の方へ感染させないよう、公共交通機関の利用を控えてください。

麻しんとは

麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、空気感染、飛沫感染、接触感染によりヒトからヒトに感染が伝播します。その感染力は非常に強いと言われており、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

感染すると、10～12日の潜伏期間の後、38℃前後の発熱が2～4日間続き、咳や鼻水といった風邪のような症状が出ます。その後、少し体温が下がり、再び高熱（多くは39℃以上）が出るとともに、発疹が出現します。発疹出現後3～4日間で解熱し症状は軽快、合併症のないかぎり7～10日後には主症状が回復します。

麻しんは発熱が長く続き、体力の消耗が激しいため、合併症がなくても入院を要することが少なくありません。近年はワクチンの2回接種が行われ、麻しんに感染する方の人数は減っていますが、海外の流行国への渡航歴がある人やその接触者で患者が発生しています。

〈参考〉 麻しんの道内における発生状況（過去5年）

令和5年5月30日(火)現在

年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
釧路保健所	0	0	0	0	1
北海道	6	0	0	1	1

(単位：人)